

1 研究主題

「わかる喜び」を育む授業の創造
 ～ 基礎的・基本的事項の定着を図るための指導法研究～

2 研究仮説

生徒が「やりたい」「解決したい」という思いや願いをもち、学修活動に取り組み、学習加地ア矢問題を解決した時の「できた喜び」「学ぶ楽しさ」を味わうことによって、自ら主体的に学ぶ態度や課題を解決する能力を育成することができるのではないかと。

3 研究の内容

- (1) 教科、道徳、特別活動、総合的な学習の研究と授業改善。
- (2) 絶対評価を考慮した年間指導計画の検討。

4 研究の方法

- (1) 各研修の前に全職員の意識調査を実施し、準備を進め、理論技術面の両面から実践にいかせるような研修を行う。
- (2) 各研修の担当者が資料の準備をし、説明を行う。
- (3) 評価は各教科の共通理解を図り、年間指導計画に沿った絶対評価の観点を教科部会で話し合い、改善していく。

5 今年度の取り組み

日 程	内 容	担 当
4月 26日(月)	オリエンテーション(研修年間計画)	研修係
5月 14日(金)	生徒指導の研修	生徒指導係
6月 8日(火)	小中連携部会についての研修	研修係
6月 21日(月)	評価に関する研修	評価係
7月 5日(月)	授業を通じた研修(数学)	数学科
8月 2日(月)	生徒指導(スクールカウンセラーによる実技研修)	生徒指導係
	特別支援教育について	研修係
	標準学力検査の分析	諸検査係、各教科
8月 20日(金)	学級経営について	学級活動係
	コンピュータに関する研修	報係教育係
	性教育についての研修	保健部
8月 31日(火)	学習指導に関する研修	学習指導係
10月 4日(月)	授業を通じた研修(道徳)	1年部、道徳係
10月 13日(水)	生徒指導事例研修	生徒指導部
10月 18日(月)	授業を通じた研修(学級活動)	2年部、学級活動係
11月 8日(月)	授業を通じた研修(保健体育)	保健体育科
1月 24日(月)	教育課程について	教務、各教科係
2月 7日(月)	人権同和教育に関する研修	人権同和教育係
2月 14日(月)	本年度の研修の成果と課題について(来年度向け)	研修係

6 実践

(1) 『評価に関する研修』(6月21日実施)

〔内容〕各教科から、評価方法について説明を行い、課題について検討する。

〔成果〕本校における各教科の評価方法について把握し、全職員の共通理解を行うことで、指導と評価の一体化が推進された。

(2) 『授業を通じた研修』(4回実施)

〔内容〕

数学科研究授業(1年)(7月5日実施)

ア 題材「加減乗除の混じった計算」

イ 指導目標

- ・ 正の数、負の数の性質及びその四則計算に興味をもたせ、積極的に取り組ませる。
- ・ 正の数、負の数のかっこを含む計算、加減乗除を含む計算の順序を理解させる。

道徳研究授業(1年)(10月4日実施)

ア 主題名 「他者の立場を尊重し、受容する心」 資料名：「ふと目の前に」

指導項目：2 - (5)

イ 指導目標：自分の立場に固執せず、広い心をもって他者を受容しようとする態度を育てる。

学級活動研究授業(2年)(10月18日実施)

ア 題材「勉学の機会と制度」

イ 指導目標

- ・ 上級学校やその他の勉学の機会や制度について、特色や内容を理解させる。
- ・ 自分の適性と照らし合わせながら、進路計画を考え、努力させる態度をもたせる。

保健体育研究授業(3年)(11月8日実施)

ア 題材「ダンス(創作ダンス)」

イ 指導目標

身体で自分が思っていること、感じていることを恥ずかしがらずに表現させ、踊る、創る楽しさ、ひとつの作品を作り上げる喜びを味わわせる。

〔成果〕

- ・ 「授業を通じた研修」では、教科・学年部の協力体制が整えられ、研究授業に取り組めた。
- ・ 授業研究においては、生徒指導面、教科指導面など多面的な内容で充実した話し合いがもたれた。

(3) 『標準学力検査の分析』(8月2日実施)

〔内容〕各教科から標準学力検査の分析結果を発表し、課題を討議した。

〔成果〕各学年間の連携の重要性を確認し、系統立てた指導法を明確にしていくことの共通理解がなされた。

(4) 『学習指導法に関する研修』(8月31日実施)

〔内容〕学習指導要領の改訂から、具体的な方針、授業の改善について。

本校の標準学力検査の推移。

〔成果〕学力向上についての本校の現状と課題・課題解決のための方策について各学年部で十分に討議ができた。

6 課題

- ・ 各教科部、学年部の話し合いの時間確保。(職員研修の時だけの話し合いで終わってしまう)

